

第5回「歩きタバコをなくそう！新宿フォーラム」会議録概要

1. 開会（座長）
2. 資料の確認（事務局）
3. テーマ設定
 - (1) 歩きタバコ対策の役割分担（事務局）... 配布資料の説明
 - (2) 歩きタバコに対する区への対応（事務局）... 配布資料の説明
4. 会議ルールの確認（座長）
 - ・今回は区にも発言してもらおう。
 - ・「参加のルール」の確認
5. 全体討論

【男性1】区に質問する。「区への対応（案）」に罰則は設けないとあるが、今あるポイ捨て禁止条例の罰則はそのまま残すのか、廃止するのか。残す場合はどのように活用するのか。今はあまりこのポイ捨て禁止条例のことは、ポスターなどに書かれていないと思うが、今後はどうするのか。

【事務局（課長）】ポイ捨て禁止条例のことは看板やポスターにも書いてあるが、実際に罰則を適用したことはない。罰則の適用も難しいのにこの条例を残すのかと疑問をもたれるのは分かるが、ポイ捨て禁止という一つの価値観を共有するためには意味があると思うので、この罰則規定は維持していく考えだ。

【男性1】維持していくのはいいが、私たちまちづくりの会としては過料制度を提言しているのだから、そういう意味で区への提案に反対だ。しかし、過料制度が嫌だというなら、次のようなことを提案したい。第一に、歩きタバコに刑事罰を適用してはどうか。それから、ガードマンを守るためにも、公務執行妨害や傷害罪で告発するということを条例に入れてはどうか。そして3番目に申し上げたいのは、警察の協力が必要なので、美化を推進するという行政の権限を与えて兼務させるという特区構想を国に申請するということだ。

【男性2】新宿区の都市マスタープランをインターネットで見ると思ったが、歩きタバコについてもこのマスタープランに添った形で進めていけばいいのではないかと。具体的には、啓発活動を地道に何度も行うことで、新宿に集まる人や住む人の意識の向上を図るということや、パトロールもいいと思う。住民が参加しやすいようにすべきで、罰則は怖がられるからよくないと思う。ところどころに喫煙所を設けて誘導するなど、時間がかかってもソフトに歩きタバコをなくしていくのが一番実効性が上がる。

【男性3】今日は費用をどれだけかけるかということなので、お金のかからない対策を提案したい。まず、飲食店のテーブルに灰皿を置かないように、区から指導してほしい。

い。それから、喫煙所には椅子を置かないようにしてほしい。3 番目は、まちの灰皿の周りに「灰皿の 30 メートル以内はタバコの害があるので、近づかないようにしましょう」と張り紙をしてほしい。

【男性 4】私は喫煙者でタバコが大好きだ。最近灰皿がまちからなくなってしまったが、ある程度灰皿を設置してそこへ誘導していただき、吸う人と吸わない人が共存できるようにしてもらいたい。歩きタバコの防止は区だけ、または警察だけではできないので、みんなで協力してやらないとできないと思う。

【座長】ちょっとここで区から喫煙場所の説明をしてもらったほうがいいのではないかな。

【事務局】以前にもご紹介したが、区はこの夏に 150 箇所余りに置いていた灰皿をすべて撤去し、新宿駅周辺 4 箇所と高田馬場駅周辺 1 箇所だけに、煙が出にくい構造の喫煙スポットを設置した。喫煙者は駅を出たら吸いたくなるというのが現実なので、最小限その受け皿は用意している。

【女性 1】私は元スモーカーなので、タバコを好きな人の気持ちも嫌いな人の気持ちも分かる。私はタバコを吸っていたときでも、周りの空気を汚さないように自分の部屋でしか吸わなかった。タバコというのは、自分だけではなく周りも巻き込むので自爆テロに似ていると思う。喫煙所を設けるのであれば屋上に設けてほしい。煙は上に上がるものなので、確実にまちはきれいになる。

【男性 5】11 月 6 日の新聞に、「JT がタバコのパッケージに肺がんの危険性を初めて明記した」という記事が載っていた。JT がそこまで踏み込んでいるのに、「区の対応(案)」について言いたい、新宿区が受動喫煙にきちんと踏み込まないのはなぜか、区長からご説明いただきたい。

【座長】区長はまだ回答しないで結構です。事務局の案について事務局へ質問したと受けとめるので、事務局から回答してもらおう。

【事務局】受動喫煙を防止したいので、歩きタバコを禁止するという考えだ。

【男性 5】今日の議題を明確にしてほしい。忙しい中出てきたのに、前回と同じ論議をしている。

【男性 6】罰則を適用しないで喫煙者のマナーが向上するのかどうか疑問。罰則は本質的解決にならないというのが罰則を採用しないという理由にならない。それから、区のやり方についてだが、タバコ会社をパトロールに参加させるべきだ。それから、新宿には都庁があるので、都とタイアップし、広域的取り組みをすべき。いずれにしても、タバコは薬物依存なのだから、マナー向上なんて到底できないと思う。

【事務局】広域的対策についてはまだ検討中だが、東京都の市町村長会が喫煙マナーアップキャンペーンをやろうと昨年から広域的連携をしていて、来年にも区長会と合同のイベントをやるつもりだ。さきほど、マナーの向上はできないというご発言だが、私どもは区の職員に歩きタバコをしないように呼びかけていて、職員はしていないと思うし、JT の社員や千代田区長など歩きタバコをしない喫煙者もいるので、

マナー向上はできないという意見には理由がないと思う。

【男性 7】タバコを吸う自由はあっても、人前で吸うのはよくないので、今ある喫煙所は仕方ないが新たにお金をかけて作る必要はない。歩きタバコをする人というのはポイ捨てもするので、警察に注意してもらいたい。罰則を設けることが是非検討していただき、悪質な人にだけでも適用してほしい。最後に、新宿区の啓発シールは大変効果的だと思うが、はってある場所に偏りがある。高田馬場にも増やしてほしい。

【男性 8】私は在勤で喫煙者だ。喫煙者の立場から見て、マナーは向上していると思う。啓発の積み重ねで意識が変わる。歩きタバコをすぐに 0 にするのか、だんだん減らすのか、ここでの議論にはこのギャップがある。喫煙者は後ろめたい気持ちを持っているので、マナーを伝えれば変わる。

【男性 9】どんなものでも好きな人と嫌いな人がいて、いかに迷惑をかけないかが問題。目立った灰皿があって、喫煙者にマナーを守れば、歩行喫煙はなくなる。吸う人と吸わない人が仲良くできればいいと思う。

【男性 10】私もタバコを吸うが、最近吸えるところがなくなってきた。先ほど区から喫煙スポットの話があったが、吸える場所が分かっていたら吸う人間はそこへ行くし、吸わない人間は避けるだろう。喫煙場所を周知したほうがトラブルはなくなる。喫煙者は電車を降りると火をつける癖があるが、ここでは吸えないとインプットされれば吸わなくなる。それから、吸いたくなるのは電車を降りた後と、ご飯を食べた後なので、昼食後のコーヒー店などでは吸わせてほしい。

【男性 11】ここに来ている人たちが、新宿に来ている人に歩きタバコをやめるように言うよりも、自分の身の回りの人たちの歩きタバコから撲滅していくようにしていただきたい。そして、新宿区長をはじめ区の職員のみなさんが起爆剤になってほしい。この会についても、今年で終わりにするのではなく、歩きタバコが減っていくのが見えてきても続けていくべきだ。

【男性 12】資料にはPRの具体策が少ない。テレビを使って広域的にPRするとか、PR費をいくら使いましょうとか、踏み込んでやってほしい。皆さんの意見でも徐々に減らしていくのがよいとのことなので、PRが一番大なのではないか。

【男性 13】区への対応(案)にある「現場での対応」はぜひ実行してもらいたい。ただ、罰則は最後の手段として必要。課長がおっしゃったようにマナーが向上しないということはないが、やむをえない場合には罰則を適用すべき。

【女性 2】質問を 3 つしたい。千代田区では児童遊園が喫煙所のようになっているときいたが、新宿区では公園を公共の場所と考えて禁煙にするのかどうか。2 つ目は分煙の定義について教えてほしい。今の分煙の方法はポイ捨て防止の面からは有効だが、健康増進法の趣旨からはどうなのか。3 つ目は、道で時々、キャンペーンガールが 1 本ずつタバコを配っているが、あれは禁止できないのか。その 3 点を伺いたい。

【事務局】公園については公共の場所と考えているが、現在灰皿を置いているところもあ

るので、今後十分に検討したい。次に、健康増進法の趣旨にのっとった分煙の定義についてだが、受動喫煙を完全に防止するのは難しく、喫煙スポットの設置に当たってはなるべく広場になっているところ、大勢の人の歩く線から離れたところを選定したつもりだ。3つ目だが、そのような商行為は私どもの方では禁止できない。

【男性 14】区の提案に基本的に賛成だが、新宿だけではできない問題なので、新宿から発信して広域的に行うことを宣言に入れたい。それから、千代田があれだけ効果をあげているのは宣伝の効果が大きいからだと思う。新宿も職員が毎日やれば違ってくると思う。また、最近気づいたのだが、自転車の整理員は管轄が違うからといって歩きタバコを注意していない。自転車整理員のような人が歩きタバコを注意するように区長から指導してほしい。

【事務局】ご指摘のように、歩きタバコ、放置自転車、違法看板等の問題に対しては、縦割りではなく総合的に対応すべきなので、すぐには行かなくても必ずやっというと思っている。

【男性 5】2 度目なので手短かに発言するが、「歩きタバコはやめましょう」というと立ち止まって吸うのはいいと思われてしまう。立ち止まっての喫煙も危険だということをしっかり受け止めてほしい。また、新宿では現在受動喫煙防止に踏み込んでないと思うので、受動喫煙の危険性をポスターに記すなどを考慮してほしい。

【座長】残り時間が 30 分になったので、ここからは「宣言」について話し合いたい。

【男性 15】案の「宣言の主文」のところで、「行政にとどまらず」とあるが、新宿区は地域参加の街づくりを目指しているのだから、「にとどまらず」はいらない。

【男性 1】これまでいろんな議論があったと思うので、これまでの経緯や反対意見などを宣言に入れてほしい。それから、これは質問だが、この案は誰が作ったのか。

【座長】たたき台の案なので区のほうで作った。

【男性 1】本来はこういうものは起草委員会でもつくってそこで作るべきで、区に任せるべきではない。

【座長】おっしゃるように起草委員会をつくるべきだが、時間的にも難しいので、皆様にお諮りしたいのだが、皆様から頂戴した意見を盛り込んで宣言をまとめる際には、皆様の代表として座長・副座長の 3 人に任せてもらいたいが、いかがでしょうか。
- (会場から了承の声) - ありがとうございます。それでは、発言をどうぞ。

【女性 1】案に「歩きタバコの概要」とあるが、歩きタバコの問題はイコール人前での喫煙問題だということを頭に入れた書き方にしてほしい。歩きタバコにとどまらず、レストランでの喫煙などその先を行った人前での喫煙の問題だと。既に 2 年前に、WHO では人前での喫煙、すなわち受動喫煙について、どんなに少量であっても健康に害があると認めている。私は海外にいたので日本の喫煙対策の遅さに驚いている。人前での喫煙を禁止するのは厳しすぎると区が言うのなら、世界での証拠の資料を私が提供する。

【女性3】遅れてきたので「宣言」の時間になってしまったが意見を言いたい。もっと派手にたくさんポスターや掲示物で宣伝しなくてはいけない。ポイ捨て禁止のステッカーを貼ってもポイ捨てされる。それから銭湯での喫煙は問題だと思う。宣言が形だけだったら、本当に受動喫煙で困っている人の立場にたっているとは思えない。

【男性16】この宣言を作る趣旨は？

【座長】これまでの議論でいろんな意見があったので、そのまとめの意味がある。

【男性16】なぜそんなことを伺ったかという、宣言を歩きタバコをしている人に見せても何にもならないと思うからだ。言うことを聞くななんて稀で、お願いしなくてはだめだ。アンケートにも書いたが、「区の職員から歩きタバコをやめるので新宿区の皆様もご協力をお願いします」というふうにしなくてはいけない。

【座長】意見は拝聴したが、やはりこれまでのたくさんのご意見を集約して残しておくべきだ。フォーラムの結論をまとめた宣言は行政にも影響を与えると思うので、大変貴重だと思う。

【男性16】私がなぜこんなことを言ったかという、まだ宣言を作るのは早すぎるのではないかと思うからだ。何年かこういう議論をした後に作るべきだ。

【男性17】ただいまのご意見は、モラルに頼るだけではだめだという意見だと思うが、そういう意見の方はぜひ一度、新宿区役所が呼びかけている清掃活動に参加して歩きタバコをしている人に声をかけてほしい。月に1回、2回と言わずやってほしい。

- (会場から何人かの異議を唱える声) -

【座長】「やらない奴はしゃべるな」ということではない。私はそういうふうにとっている。時間なので今日はこれで終了する。

6. 次回の設定 (事務局)

7. 閉会 (座長)